

都市再生整備計画 事後評価シート  
竜王中心拠点地区  
(地方都市リノベーション事業)

平成28年2月

山梨県甲斐市

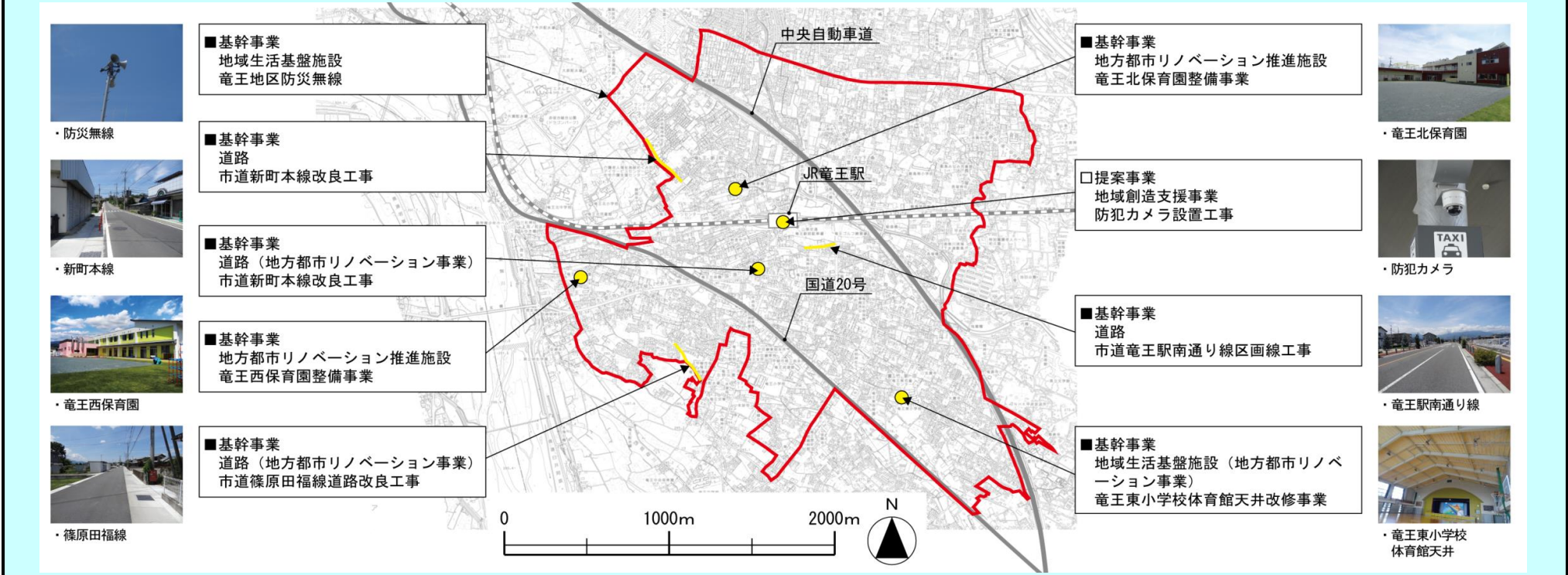
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山梨県		市町村名	甲斐市		地区名	竜王中心拠点地区			面積	434ha	
交付期間	平成24年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	1,052百万円	国費率	0.490			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(地方都市リノベーション事業)(市道新町本線、市道篠原田福線)、道路(市道新町本線、市道竜王駅南通り線)、地域生活基盤施設(竜王地区防災無線)、地域生活基盤施設(地方都市リノベーション事業)(竜王東小学校体育館天井改修事業)、地方都市リノベーション推進施設(竜王北保育園、竜王西保育園)									
		提案事業	地域創造支援事業(防犯カメラ設置事業)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	-		-			-				
	新たに追加した事業	基幹事業	-		-			-				
		提案事業	-		-			-				
交付期間の変更	当初	平成24年～平成26年		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	数値目標に対して若干の影響は考えられるが目標数値は据え置いた。また、交付期間の延長に伴い、目標年度を平成27年度に変更した。							
変更	平成24年～平成27年											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	保育園の園児数	人/年	218	H24	230	H27	292	○	あり なし	竜王北保育園および竜王西保育園の改築により、園児の受入可能数が増加し目標を達成した。コンパクトなまちづくりに向けた都市機能の整備が進んでいる。	-
	指標2	歩道整備率	%	0	H24	30	H27	36	○	あり なし	市道新町本線の改良が進み、目標を達成した。歩行者環境の向上が図られたことにより、中心市街地の魅力が向上している。	-
	指標3									あり なし		
	指標4									あり なし		
	指標5									あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1											
4)定性的な効果発現状況	-											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	・審議会委員等の住民公募 ・パブリックコメントの実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○	各種審議会委員への市民参加の公募をし、協働によるまちづくりを推進する。 市民が意見や提言を行うことができる公聴制度の充実を図る。			
	持続的なまちづくり体制の構築	・歩行者の安全確保[高齢者と子供の帰り道ふれあい事業]		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○	歩道整備と見守り活動の継続という両面から歩行者の安全性を高めていく。			

## 様式2-2 地区の概要

### 竜王中心拠点地区(山梨県甲斐市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標 人が安心、安全に暮らし、活気あふれるまちづくりの推進 目標1 都市機能の充実したまちづくり 目標2 安全で快適に暮らせるまちづくり	保育園の園児数	218 H24	230 H27	292 H27
	歩道整備率	0 H24	30 H27	36 H27



**まちの課題の変化**

- 中心拠点地区に必要な都市基盤施設の一層の充実に向けて、老朽化した公共施設の建て替えにあたっては、施設の統合や再配置を進め、コンパクトなまちづくりを推進していく。
- 他地区からの流入者等に関して、自治会活動への参加が少なく、地元住民とのコミュニケーションが不足している。
- JR竜王駅前には従前から商業施設が少ないため、引き続き中心市街地としての魅力向上を図る必要がある。
- 甲斐市への来訪者が長時間滞在できるよう、地域資源を活かしたまちづくりの推進を図る必要がある。
- 駅や公共施設を結ぶルートに歩道のない箇所が残っている。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- 地区内の公共施設について、指定管理者制度の活用などにより利便性の向上を推進し、中心拠点地区の都市機能の充実を図る。
- 避難所としての機能をより一層強化していくため、防災資機材の確保といった整備を推進する。
- 大型商業施設を核とした竜王駅前のまちづくりを推進する。
- 高齢者と子どもの帰り道ふれあい事業を継続し、歩道整備と、見守り活動の継続という両面から、歩行者の安全性を高めていく。
- 公共施設等総合管理計画に基づき、中心市街地への集約を念頭に、施設の更新や統廃合を進める。
- 他地区からの流入者等への啓発活動により、地域の活動への参加を促し、コミュニケーションの活性化を図る。
- 中心拠点地区の人口密度の維持を図るため、都市の集約化に向けた取り組みを推進する。
- 個人商業施設への支援を充実させ、既存商業施設の撤退を防止するとともに、新規出店を促進する。
- 平成27年2月に策定した甲斐市景観計画にもとづき、地域資源の顕在化とまちづくりへの活用を図る。
- 幹線道路や地元要望の高い路線については、道路改良に併せて歩道の設置を検討する。